

第 32 回愛岐処分場専門家会議議事要旨

令和 7 年 1 月 28 日（火） 午前 10 時 45 分～正午
愛岐処分場 研修室

委員 監視カメラの画像の確認について、最近 A I の技術が発達してきているので、A I による画像認識や異常検知機能を活用し確認の精度を上げてはどうか。導入の機会があれば検討して欲しい。

事務局 A I の技術が発達して精度が上がってきていることは承知している。今後監視システムにどのように活かしていけるのか、予算上の問題も関係してくるが、研究していきたい。

委員 事故・災害等の防止対応マニュアルや計画停電時の体制表を拝見したが、とても丁寧で作成されている。特に計画停電時の作業フローで市の担当者、運転管理者、電気主任技術者の体制が分かるので非常にわかりやすくてよいフローだと思った。常駐で運転管理している浸出水処理施設の中央監視室や名古屋市の担当者がある管理事務所など各所に紙で置いておくとういのはと思った。

事務局 確認し、置いていない場所には置くようにする。

座長 縦割りではなく、他部署の電気技術職員に助言をもらうなど横の繋がりも研修に活かしていて非常によいと思う。今後もこのような形で頑張ってもらいたい。

委員 観測井戸のポンプについて、本来はポンプが稼働して観測井戸の水を汲み上げると通常の数値だが、故障したことにより水が溜まってしまい数値が高くなったという理解でよいか。また、今回故障した観測井戸のポンプについて、設置してからどのくらいで故障したのか。

事務局 そのような理解で大丈夫である。ポンプは約 7 年使用したものになる。

委員 定期的に交換していただくのが望ましい。

委員 今回故障したポンプは測定してデータを取るためのポンプか。

事務局 データを取るためだけではなく、井戸の水位がある程度になるとポンプが井戸の水を抜き取り、井戸内の水が地下水になるように循環している。
データを取る際もポンプを動かし、井戸内の地下水を汲み上げて測定していたが、

今回ポンプが動かなかったことにより循環されていない滞った上部の水を測定した。

委員 環境モニタリングについて、浸出水を処理するための脱水ケーキ量や使用した薬剤の量の経年的変化を見ることで、処理水の状態に変化がなくても、処理率によって浸出水の水質の変化を見ることができるのではないかと思うので、一度検討していただきたい。

事務局 新処理施設となりどのような影響を受けるか分からないが、今後評価の仕方をどのようにしていくかを含めて検討していきたい。

委員 降雨量によって増減すると思うが、処理するのに使用した薬剤の量を見ることで、5年位経つと傾向が見えてきてモニタリングに活用できるのではないかと思う。
また、ガス抜き管からメタンが出ていると話があったが、悪臭はあるのか。

事務局 悪臭はない。

委員 大気測定にガス抜き管からの影響はあるか。

事務局 影響はない。

座長 委員がおっしゃった薬剤量とは、水酸化ナトリウムと硫酸の使用量を毎年測定するとよいということか。

委員 はい。使用量が分かればそれによって分かると思う。

事務局 使用量は分かると思う。ただ、新処理施設となり使用している薬剤も変わっているところもあるので、新処理施設となったことを機に今後集計して検討していきたい。

委員 新処理施設からで結構なので検討していただきたい。

委員 災害時の廃棄物をどうするかとなった時、愛岐処分場は大事な場所だと思う。そういう視点を名古屋市民に伝えることで、市民も関心を持ってくれるのではないかと思う。

事務局 災害廃棄物については、名古屋市では発災後3日以内に住民用仮置場、次に一次仮置場、その後に二次仮置場を設置することとしている。
仮置場の候補地については、名古屋市が所有するオープンスペースが考えられて

いるが、災害発生時には、それらの場所はまず生命にかかわり緊急を要するものが優先的に使用することとなる。その後、それ以外の用途の場所を決めていくため、仮置場候補地の事前の選定は名古屋市の方針上難しい。

委員 承知した。

委員 愛岐処分場を始め、日本の最終処分場の仕組みは非常に優れてると思う。海外の方がその素晴らしさを学べるような研修や処分場の構造が詳しく説明されているプログラムのようなものがあるとよい。

座長 処分場の断面図を見たが、立体的にどのようなになっているのか分かりにくいため、立体的にわかりやすいものがあるとよい。予算の都合で難しいとは思うが。

委員 処分場で害獣は増えているのか。

事務局 イノシシやシカなどがどのくらいいるのかはつきりとは分からないが、諏訪町の住民の方からは、季節により違うが被害は増えていると聞いている。処分場には害獣用の罠が3箇所ある。今年度は現在16頭ほどのイノシシが罠にかかっており、昨年度と比べ増えている。

委員 罠の設置を増やすことは考えていないか。

事務局 罠を設置してもなかなかかかってくれないということもあり、場所を変える等して設置数はこのままでと考えている。